

# 秋田の土地改良



誰もが住んでみたい村に  
農業農村整備

みどり  
水土里ネット秋田

目次	全国植樹祭を秋田県で開催！	2
	全国へ発信！（全国土地改良大会秋田大会）	4
	21世紀土地改良区創造運動（秋田県奨励賞と地方大賞への推薦地区が決定）	5
	水土里ネット活動報告（各地の取り組み）	6
	水土里ネット広報キャラバン	8
	農村災害支援⑤ -19年災害復興“田植え順調に終了”-	9
	農地・水・環境保全向上対策地域協議会第1回通常総会	10
	農業農村工学会大会講演会の開催に向けて！	11
	水土里情報利活用促進事業の現状	12
	水土里ネットのIT化に向けた支援	14
	土地改良施設維持管理適正化事業の加入について	15
	会員だより	16
	春の叙勲（県内関係者）	16
NHK“熱中時間”で農業用水路が取り上げられます	16	
インフォメーション	17	

◆発行所／秋田県土地改良事業団体連合会 〒010-0967 秋田市高陽幸町3番37号  
TEL .018-888-2750(代) FAX .018-888-2834 <http://homepage2.nifty.com/akidoren/>



「第6回水土里のみちウォーキング in 仁井田 walk」より

# 「手をつなごう 森と水とわたしたち」

## 第59回全国植樹祭が北秋田市で開催



### 秋田から始まる新しい森づくり

平成20年6月15日、新緑に包まれた北秋田市の北歐の杜公園にて天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、第59回全国植樹祭が開催されました。

今回の全国植樹祭は、7月の北海道洞爺湖サミットを控え、気候変動問題に世界の関心が集まっている中、豊かな「水と緑」の創造と未来への継承を開催理念に、「手をつなごう 森と水とわたしたち」を大会テーマに1万1,500の方が記念式典に参加し、記念植樹を行いました。

秋田県では、全国植樹祭の開催を契機として県民総参加の森づくりを一層推進し、日本一水と緑豊かな秋田を次の世代に引き継いでまいります。



## 歓迎レセプション

平成20年6月14日、大館市内のホテルに於いて、天皇皇后両陛下のご臨席を賜り、第59回全国植樹祭の開催県として、県内外招待者の植樹祭への来訪を歓迎し、懇親を深める場としてレセプションを開催しました。

当日朝発生した「岩手・宮城内陸地震」の影響で、中央招待者や県関係者の中に参加できない方がおられました。天皇皇后両陛下が多くの方々と御歓談なされるなど、厳かにかつ和やかに開催されました。

(秋田県農林水産部全国植樹祭推進室)



## 第31回 全国土地改良大会 秋田大会

■日時 平成20年10月14日(火)

■場所 秋田県立武道館

事業視察 平成20年10月15日(水)～16日(木)

多数の参加をお待ちしております!!

あと111日(6月25日現在)

【問い合わせ先】

総務企画部全国大会開催PJ 島山・阿部・齊藤・尾張谷  
TEL.018-888-2713 FAX.018-888-2834





全国へ  
発信!!

10月14日に第31回全国土地改良大会秋田大会が本県（秋田市）で開催されることは、ご承知のことと思われま。本会では役職員が一丸となってその成功に向けて鋭意努力しているところでございます。

この度、全国農村振興技術連盟より執筆依頼があり、以下のような内容で全国へ情報発信いたしましたので、会員及び関係の方々にお知らせいたします。（投稿：平成20年5月）

## 第31回全国土地改良大会秋田大会の “成功に向けた体制づくり”

「どさ」「ゆさ」これは秋田弁で、「どちらへ行かれるのですか?」「風呂に」という会話が四文字に要約されたものであります。秋田弁は他の地方の方言と比べ、単語の長さが比較的短い傾向にあり、寒冷な秋田県の気候に関係があるのではないかと考えられます。

代表的な表現として、「け!」（食べる!）・「く!」（食べる!）・「んだ」（そうだ）・「んた」（嫌だ）・「さい!」（しまった）等々があり地域によって分類され、県北だと尾高型のアクセントになり、県央・県南だと中高型のアクセントになる傾向が強く感じられます。

このような方言を使う秋田県で、本会が創立50周年の節目を迎えた年に、第31回全国土地改良大会秋田大会が、“あすを拓く大地・きらめく疏水・たくましき郷”をキャッチフレーズ（先頭文字の組み合わせで「あきた」）として、10月に開催することとなり組織一丸となってその成功に向けて万般に亘る準備を進めているところでございます。

大会会場となる秋田市内の県立武道館は、開館4年目で県内武道の中心道場であり約5,000人の収容が可能となっております。また、事業視察コースについては、日帰り並びに宿泊を伴う全5コースを設定し、秋田の歴史を満喫して頂きたいと考えております。それでは、事業視察コースの一部をご紹介します。

### 大潟・男鹿コース

雪の山から下りてくる“なまはげ”を地元の人々は一種の神様と考えてきたようであり数々の伝説があり、文化と歴史に偉大なロマンを抱き、男鹿一帯に豊かに伝承されてきたものであります。



### 由利・雄勝コース

小野小町は平安前期頃の女流歌人で、生まれは秋田県湯沢市小野という説が主流となっており、絶世の美女としての数々の逸話があり、秋田米の「あきたこまち」や秋田新幹線の列車愛称「こまち」は彼女の名前に由来するものでもあります。



### 日帰りコース

大潟村は、琵琶湖に次ぐ日本第二の湖であった「八郎潟」を干拓して誕生した地域で、入植村民を全国から募集し広い農地で大型機械を使った、新しい農業のモデルを目指している村です。

また、写真は竿灯と言って秋田市内で毎年8月に行われる稲穂に連なる提灯を米俵に見立て豊作を祈る祭り、東北四大祭りの一つとしてあげられております。



大会開催までいよいよ5ヶ月（現在は、111日）となり、大会式典や歓迎アトラクションなど随所に秋田らしさを演出し、準備に万全を期し県内関係者全員で盛り上がりのある大会としたいと考えております。それでは10月14日秋田でお会いしましょう。お待ちしております。

（総務企画部広報・渉外班）

## 21世紀土地改良区創造運動

今年度の秋田県奨励賞と  
地方大賞への推薦地区が決定！

### 【平成20年度21創造運動大賞の選考】

6月2日(月)、平成20年度の21創造運動大賞の推薦地区に関する選考が、本年度の秋田県奨励賞、地方選考委員会推薦地区、県知事賞推薦地区、さなえ賞推薦地区について行われた。

選考は、平成19年度に21創造運動に取り組んだ22地区を対象に、①運動の取り組み体制、②運動の意図性、③運動の継続性・発展性、④運動の成果などを選考基準とし、事前に活動を実施した各水土里ネットから、それぞれの地区を採点してもらい、その結果をもとに推進本部長及び事務局での協議により決定された。

「21創造運動大賞」(全国土地改良大会で表彰)の前段となる「地方大賞」の東北ブロックへの推薦水土里ネットとして、ウォーキングを継続開催している**水土里ネット仁井田堰(秋田市)**の推薦を決定した。

また、昨年度に創設された運動を開始して2年以内で、今後の運動の展開が大いに期待できる水土里ネットを表彰する『さなえ賞』(受賞地区数は、原則として都道府県毎に1地区)は、選考の結果、**水土里ネット綴子(北秋田市)**の推薦が決定した。なお、平成20年度の受賞及び推薦地区は次のとおり。

- 秋田県21世紀土地改良区創造運動奨励賞
  - ・水土里ネット能代地区(秋田県能代地区土地改良区)
- 東北地方選考委員会推薦地区
  - ・水土里ネット仁井田堰(仁井田堰土地改良区)
- 21創造運動さなえ賞推薦地区
  - ・水土里ネット綴子(北秋田市綴子土地改良区)
- 秋田県知事賞推薦地区
  - ・水土里ネット湯沢中央(湯沢市中央土地改良区)

### 【水土里レポーターの選任について】

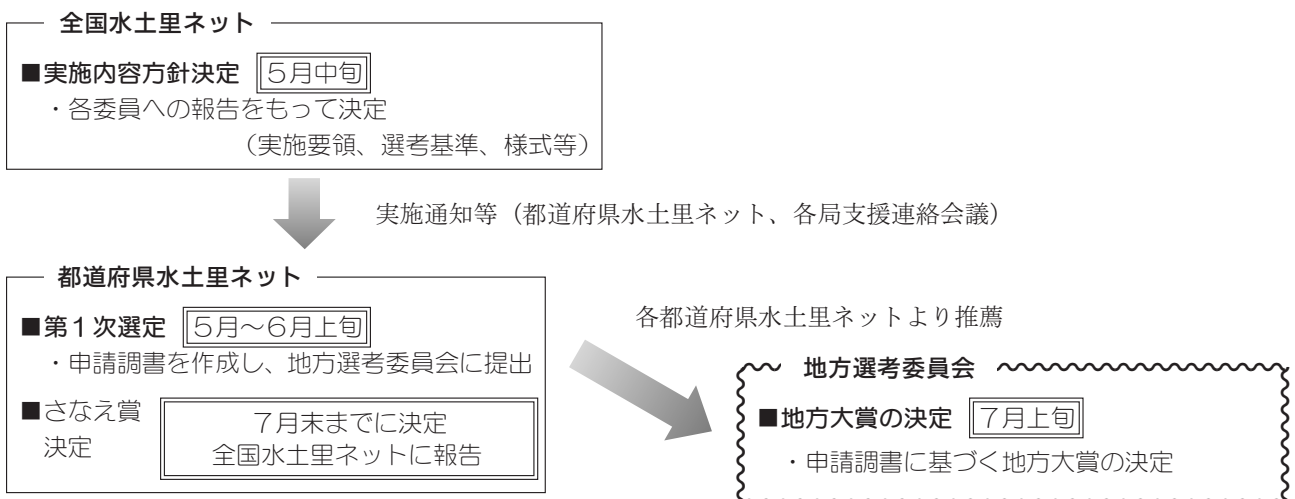
21創造運動や水土里ネットの地域における活動などを情報発信してもらおうと、今年度も地域水土里レポーターを選任(各管内・支部から1名)しました。

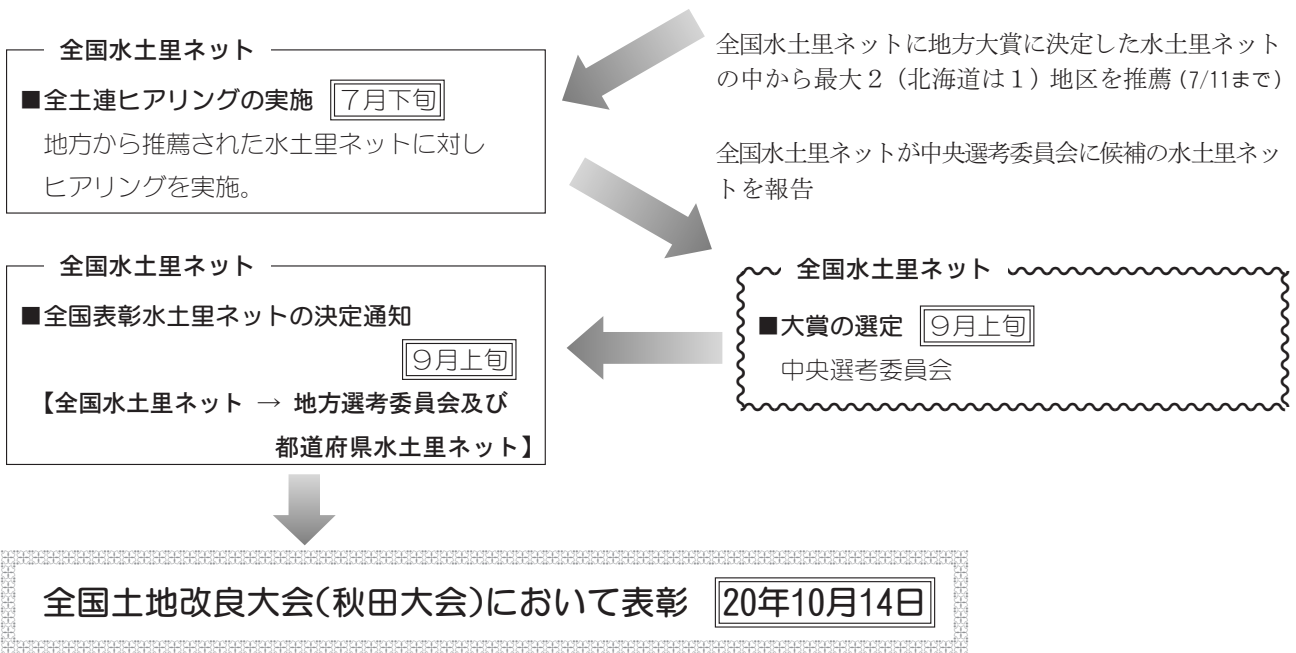
21創造運動の取り組み、農地・水・環境保全向上対策などに関係した地域活動、田んぼの生きもの調査、ホームページの開設など水土里ネットに関する情報、話題などがありましたら、お近くの水土里レポーター又は土地連各支部担当、21創造運動推進本部事務局(総務企画部広報・渉外班 TEL.018-888-2742)まで、お知らせください。

### ◇平成20年度水土里レポーター

- ・原田政子(水土里ネットかづの)、菅原喜博(水土里ネット二井田真中)、畠山篤美(水土里ネット浜口)、伊藤清栄(水土里ネット仁井田堰)、須田久(水土里ネットにかほ)、藤岡義博(水土里ネット七滝)、吉田一則(水土里ネット雄物川筋)、高橋和美(水土里ネット湯沢中央)

## 【平成20年度21世紀土地改良区創造運動表彰実施の流れ】





## 水土里ネット 活動報告

### ■授業で田植え体験

～小学生が「農業の大切さ」を学ぶ～

—水土里ネット綴子—

北秋田市の綴子小学校の5年生29人が5月30日、授業の一環として綴子大太鼓の里保全隊(農地・水・環境保全向上対策活動組織)が主催した農業体験に参加し、田植えを体験した。

保全隊では、綴子小学校と連携を図り、地域の子供たちに農業についての理解と関心をもってもらうため、農業体験を企画し今年で2回目となる。

農業体験は、保全隊の実践活動として実施され、保全隊からは婦人会や自治会、小学校PTA、水土



里ネット綴子など90名が参加した。

実施場所は低コスト化大区画は場整備事業(H3～12年3月)により造成された地域で、地元農

家高橋さんの田んぼの一角。初めに同保全隊の藤島勝政隊長が、「お米が農家の方々の工夫や苦勞に、いかに



支えられているか体験して学びましょう」と挨拶した後、保全隊(こびりの会)の各指導者から作業説明・見本作業などの後、一斉に田んぼに入って作業が行われた。児童らは強風の中、歓声を上げながら素足で8アールの田んぼに入り、“あきたこまちの苗”を1株5本ずつ植えた。

初めは恐る恐る足を運んでいたが、後半には自由に田んぼの中を移動。中には足を取られて転んでしまう児童も二人ほどいたが、多くの子供が足を取られながらも一生懸命植えている姿に、指導員の高橋さんも「なかなか上手」と褒めていた。

はじめての田植えだった山内優希さん(10)は、「初めて植えたので少し曲がったけど、ちゃんとできて良かった。ぬるぬるした感触にびっくりしたが、一生懸命植えたから秋の収穫が楽しみ」と期待をふくらませていた。同保全隊では昨年に引き続き10月中旬には参加児童と“稲刈り・ハサ掛け”等も行うことにしている。

作業終了後は地域の婦人会が準備してくれた“小昼(こびり)”の由来や、お米ができるまでの過程

を歌詞にして作られた「お米ありがとう音頭」により踊りが披露され子供達も輪に加わっていた。

田植え作業や「こびり」ごはん、婦人会・老人ホームの入居者などの応援を得ながら、昔ながらの農業を体験した児童からは、体験を通して「農業の大切さ」を自分たちの子供にも伝えてい

きたいなどの感想発表や主催者へのお礼の言葉があり、楽しい一日となった。

\*こびり(ころばし)：地域では休憩中に食べる“おやつ”で、朝食と昼食又は昼食と夕食の間に食べるご飯「小昼」が訛って「こびり」となっていると言われている

## ■川口小学校三年生による農業体験学習 (ねぎ植え体験)

### ー水土里ネット下川沿ー

6月9日、晴天に恵まれ、立花地域農用地保全活動協議が、農地・水・環境保全事業の一環として、大館市立川口小学校三年生、21名が農事組合法人立花ファーム所有の転作田1haを活用して、ねぎの苗植えを体験した。

はじめに同ファームの長崎章夫代表がハウス内でねぎの種が入っているねぎ坊主を使って説明し、ねぎ植え機械による苗作りも見せてくれた。その後ねぎの圃場へ行く途中、農道沿いや堤防沿いには農地・水・環境保全事業で植えたハマナス約400本、木苺約600本を見て、来年は



夏ハゼとラベンダーを植える計画であることや、農地や水を皆で大切に守っていかなくてはなら



ないことなどをわかりやすく説明してくれた。その後、児童らはねぎ圃場へ移動し一人5本ずつ手植えを体験しながら、機械によるねぎ植えを見学した。機械植えと自分達とどちらが良く植えられているか比べていました。また、隣接地では大豆の機械植えも見せてくれました。

最後の質問コーナーでは、参加した児童からはどうしてねぎは白くなるのかや、どのような苦労があるかなどについて質問していました。「秋までどのくらい大きくなっているかな」と楽しみにしている様子でした。

今回植え付けたねぎは10月下旬頃子供たちが収穫に来る予定です。

## ■第6回「水土里のみちウォーキング」 in仁井田walk

### ー水土里ネット仁井田堰ー

6月15日(日)、第6回「水土里のみちウォーキング」in仁井田walkが、水土里ネット仁井田堰(仁井田堰土地改良区)と秋田県ウォーキング協会の主催により開催された。

毎年、秋田市の仁井田・四ツ小屋地区の豊かな自然、地域の歴史・文化に触れながら、農村を歩くイベントとしてすっかり定着した感がある。曇天にも関わらず、今回も参加者は300人を超え(14kmコース中学生以下7人を含む126人・6kmコース中学生以下53人を含む200人)、人気の高さが伺えた。

スタート地点であるシルバーエリア(秋田市御所野地区)において開会式を行った後、14kmコー

ス・6kmコースのそれぞれに分かれた参加者は、各自のペースで歩を進めていた。コース途中の



休憩ポイントにおいては、管理者である水土里ネット仁井田堰の職員から「仁井田堰頭首工」の機能・役割についての説明が行われ、また「ヤブレ沼」では、その歴史等の説明が行われた。普段の生活の中で、農業用施設に触れる機会の少ない子供もたくさん参加しており、説明を聞いた子供たちは、農業用施設に興味を抱いている様子であった。

そしてゴール地点では、久々に長い距離を歩いたのか、疲れた表情を隠せずにベンチで休憩

をとるひと、全く疲れを見せずにゴール地点を走り回る元気な子供の姿など、様々な表情が伺えた。しかし、各コースを歩ききった達成感・充実感はゴールした参加者全員が共通して感じていたようだ。

21世紀土地改良区創造運動の活動の一環としてスタートしたこのイベントも第6回を数え、前回に引き続き数多くの参加者を集め、たくさんの思い出を提供することができた。これから

も、着実に回数を重ね、より一層の定着を図るとともに、多くの楽しい思い出を提供できるイベントとして、発展して行ってほしいと願う。



## 「水土里ネット広報キャラバン」 各支部で開催

### — 現地広報活動の実践 —

#### ■最近の事業に対する情報提供を通じた意見交換会

水土里ネット秋田が独自に現地広報活動として取り組む「水土里ネット広報キャラバン」が、各支部を会場に開催され、会員である市町村の担当職員や水土里ネットの役職員から参加していただいた。

キャラバンは、全国土地改良大会秋田大会の準備状況や水土里ネット秋田設立50周年記念式典、水土里情報利活用促進事業、水土里ネットにおけるIT化(通信情報網)に向けた支援、面的集積強化促進事業などについて、最近の事業に対する情報提供を行い、新たな制度、施策についても会員の理解を深めていただくと共に、会員水土里ネットが抱えている問題点、意見及び要望を拝聴しながら、新たな施策の積極的な推進に向けた意見交換の場として、昨年引き続き企画・実施された。

各会場では、水土里ネット秋田の各部長、技術長、次長、事務所長、専門員などがキャラバ



ンの隊員となって、事業のスキームや土地改良区の役割、メリットなどの説明を行った後、質問や要望を受ける形でキャラバンが進められた。

意見・要望等では、各水土里ネットで課題となっている未収金に関する質問や、全国土地改良大会への関わり方などについて、意見や要望が出された。

水土里ネット秋田では、今回の「水土里ネット広報キャラバン」で出された意見・要望を今後の事業展開に反映させると共に、新たな施策に対応した事業推進に積極的に取り組んでいきたいと考えている。

#### 〔開催状況〕

支 部	開 催 日	参加者(予定)	開 催 場 所
鹿 角	6月27日	(29)	鹿角市山村開発センター
大館・北秋田	6月18日	47	北秋田市交流センター
山 本	7月10日	(76)	能代キャッスルホテル平安閣
秋 田	6月20日	52	イヤタカ
由 利	6月11日	57	ホテルアイリス
仙 北	6月13日	101	グランドパレス川端
平 鹿	6月25日	43	秋田県雄物川筋土地改良区
雄 勝	6月10日	57	湯沢グランドホテル



農村災害支援⑤

—秋田県農村災害支援協議会—

# 19年災害復興 “田植え順調に終了”

平成19年9月に発生した秋雨前線豪雨災害による農地・農業用施設等災害の復旧工事は好天や関係者の努力の結果、順調に進捗し、20年度に繰り越した工事も含めて5月中旬にはほぼ終盤を向え、その後の田植えも例年と比べてもそれほど遅れない時期に終了しました。激甚な被害を受けた北秋田市や鹿角市の農家からは「大雪の翌春とほぼ同じ時期に田植えを終えることができています。去年の秋は悲嘆に暮れた日々であったことを思い出すと“ホッ”としている。」との声が多く聞かれます。流入土等の影響で田んぼの土壌条件が変化したと思われることから、農家の皆様には営農面で細心の注意を払っていただき、今年の未収穫分を埋め合わせ“出来秋”を祈っているところです。

当時の被害状況と現在の復旧状況、および9月災害で最も激甚な被害を受けられた関係者から寄せられたコメントを併せて紹介し、報告いたします。

コメント1

「浦田地区代表者（農地災害）」（北秋田市旧森吉町浦田）

「多くの関係者の懸命な努力によって田植えの遅れもなく無事終了することができました。大変ありがとうございました。心から感謝申し上げます。」

コメント2

「本城頭首工代表者」（御嶽地区 北秋田市旧森吉町本城）

「流失した頭首工を目の当たりにした時はどう対応すべきか頭が真っ白になっていました。幸い、県営災害復旧事業の採択を得、取水用の仮設締め切り工事も3月末で完了し、例年と同じように春作業が出来ました。心配をお掛けした多くの皆さんに心からお礼申し上げます。ありがとうございました。」

## 平成19年発生災害復旧事業進捗状況（H20年6月25日現在）

〔資料提供〕秋田県農林水産部農地整備課

（金額：千円）

事業主体	区分	査定額(事業費)		H19年度			H20年度			H21年度予定		
		箇所数	金額	箇所数	金額	発注率	箇所数	金額	20まで率	箇所数	金額	21まで率
団体営	(ha)	(158)		(151)			(7)					
	農地	188	644,185	170	418,587	65%	18	225,598	100%	0	0	100%
	施設	343	1,057,377	322	831,092	79%	21	226,285	100%	0	0	100%
	環境	5	57,313	5	57,313	100%	0	0	100%	0	0	100%
	計	536	1,758,875	497	1,306,992	74%	39	451,883	100%	0	0	100%
県営	(ha)											
	農地	0	0	0	0		0	0		0	0	
	施設	7	456,634	7	117,861	26%	(3)	203,287	70%	(1)	135,486	100%
	環境	—	0	0	0	—	0	0	—	—	—	—
	計	7	456,634	7	117,861	26%	(3)	203,287	70%	(1)	135,486	100%
計	(ha)	(158)		(151)			(7)					
	農地	188	644,185	170	418,587	65%	18	225,598	100%	0		100%
	施設	350	1,514,011	329	948,953	63%	21	429,572	91%	(1)	135,486	100%
	環境	5	57,313	5	57,313	100%	0	0	100%	0	—	100%
	計	543	2,215,509	504	1,424,853	64%	39	655,170	94%	(1)	135,486	100%
摘要	農地：農地災害復旧事業（ ）内は被災面積を示す 施設：農業用施設災害復旧事業 環境：災害関連農村生活環境施設復旧事業 ・御嶽地区農業用施設災害関連事業について 1)箇所数：御嶽地区に含む 2)金額：118,318千円は県営施設の内数とする											

①北秋田市浦田地域



被災時の様子



H20.6.3

②北秋田市（旧合川町川井）



被災時の様子



H20.6.3

③北秋田市本城頭首工



被災時の様子



H20.6.3

④鹿角市高見田地区



被災時の様子



H20.6.3

⑤北秋田市前田地区（集落排水処理施設）



被災時の様子



H20.6.3

〔写真提供〕

- ・北秋田地域振興局農林部農林整備課
- ・鹿角市

平成20年度第1回通常総会が開催される

秋田県農地・水・環境保全向上対策地域協議会

5月16日、秋田市（秋田県社会福祉会館）で「秋田県農地・水・環境保全向上対策地域協議会」の平成20年度第1回通常総会が、28会員団体（会員数30団体）の出席で開催された。

農地や農業用水などの資源の保全と質の向上を図ることを目的に、地域ぐるみでの共同活動や営農活動を支援するもので、平成19年度からスタートし、秋田県は県全体の地域づくりの一環として「水と緑に包まれた秋田の原風景を守り継ぐ県民運動」として位置付けており、県内709活動組織が取り組みを行っている。

総会は、三浦貞一地域協議会長（水土里ネット秋田専務理事）が「全国でもトップクラスの取組を行っているが、現在は米価の低迷や限界集落等で低下してきている農村集落の活力を向上させることが当面の課題と思われる。この対策が

秋田の農村にしっかりと根付くように、経営所得安定対策の他に中山間直接支払制度などと連携しながら、真に県民に親しまれる制度にしていかなければならない。要望が多かった事務の簡素化、事業費の早期交付については改善が見られたが、今年度は共同活動を柔軟に取り組めるように、支部協議会において活動組織とコミュニケーションを深め、支部体制を強化して行きたいので一層の協力をお願いしたい」と挨拶し、引き続き、提出議案について協議が行われた。

議事では、平成19年度事業報告案、平成19年度共同活動・営農活動支援交付金・推進交付金の収支決算書案、秋田県地域活動指針への活動項目の追加案、地域協議会規約改正案などが協議され、いずれも事務局提案どおりに承認された。また、報告事項として交付金の実績報告、第3回検討委員会の概要、活動組織の確認事務等に係る対応、地域協議会の事業計画（上期予定）などが報告された。

（地域協議会：役員）

会長 水土里ネット秋田専務理事 三浦貞一

副会長 秋田市農林部長 嵯峨峰芳  
 監事 北秋田市産業部長 吉田 茂  
 由利本荘市農林水産部長 小松秀穂  
 大仙市農林商工部長 藤原 薫

【担当・問い合わせ先】

秋田県農地・水・環境保全向上対策地域協議会  
 水土里ネット秋田 総務企画部内  
 TEL.018-888-2712 FAX.018-888-2834



**平成20年度 農業農村工学会  
 大会講演会 秋田大会**

— 8月26日～29日、県立大学で開催 —

平成20年度農業農村工学会大会講演会秋田大会が、来る8月26日～29日の4日間、秋田県立大学秋田キャンパスで開催されます。

「農業農村工学会」は、教育・研究機関や行政、農業団体、測量設計、建設業界等各種分野の研究者や技術者10,000人余りで構成されています。

この学会の主要行事である大会講演会は、全国の大学・研究機関や国、県、市町村、民間企業の研究者や技術者が一堂に会して、土地改良技術に関する研究成果や事例報告を3日間に渡り行うもので、374課題の講演発表と39のポスター発表、19のテーマに分かれた企画セッションを予定しております。

4日目の最終日は、現地研修会として、国営のかんがい排水事業平鹿平野地区(横手市)、県営ほ場整備事業で、イバラトミヨを保護しながら整備された駒場北地区(大仙市)等を巡る県南コースと、八郎潟干拓施設や男鹿の歴史・文化を探访する八郎潟周辺コースの2コースを設定しています。

ここ秋田県での全国大会の開催は通算3回目

となります。前々回の開催は、農業土木における20世紀最大級の国家プロジェクト、国営八郎潟干拓事業によって造成された八郎潟干拓地の干陸式が挙行政され、大潟村が発足した昭和39年で、前回の開催は、八郎潟新農村建設事業団の完工式が挙行政された昭和51年で、32年ぶりの開催となります。

また、大会期間中には、共催行事として「秋田コーナー」を設置し、県内で実施中の「農地・水・環境保全向上対策」の事例発表や先般指定湖沼となった「八郎湖」のシンポジウム等を開催するなどタイムリーな話題提供に努める他、秋田のNN事業を紹介するパネル展示や県内特産品の販売など秋田をPRする企画を多数予定しています。

秋田大会では、県民にも開かれた大会となるよう趣向を凝らし、学会員だけではなく、県内の市町村や土地改良区、各種団体の方々にも幅広く参加を呼びかけ、全国規模の学術的土地改良関係の大会に相応しい相互交流の機会にしたいと考えております。

どうか土地改良区関係者多数の方々のご参加をお待ちしております。

なお、参加申し込みについては、県の各地域振興局農林部農村整備課を通じ、受付する予定としておりますので、よろしくお願いいたします。

**平成20年度 農業農村工学会  
 大会講演会秋田大会**

- 開催日程 平成20年8月26(火)～29(金)
- 開催場所 秋田県立大学  
秋田キャンパス

【問い合わせ】 秋田県農林水産部 農山村振興課  
 農村整備計画班 佐藤暢・畠山  
 TEL.018 (860) 1856



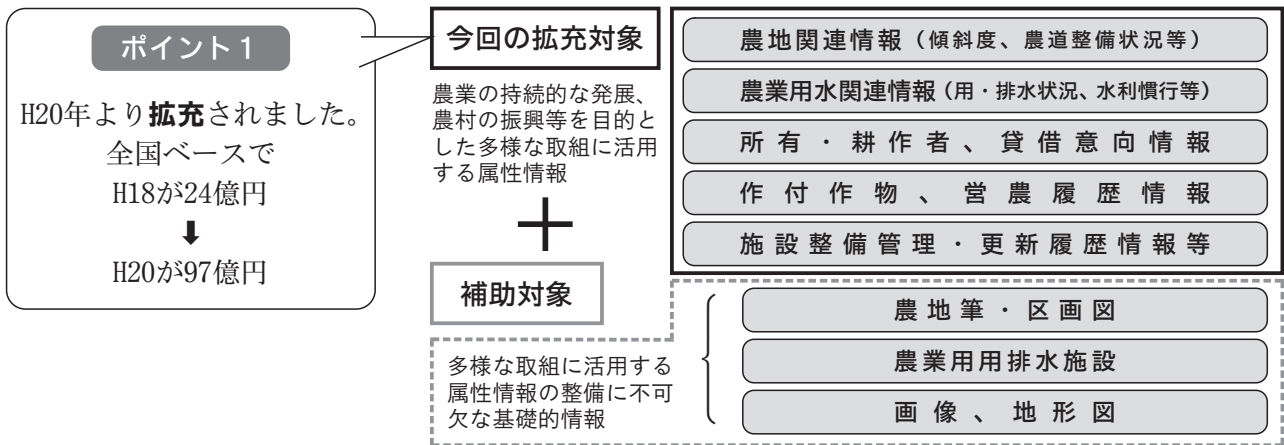
# 水土里情報利活用促進事業について

## ポイント

- 1 水土里情報利活用促進事業がH20から拡充されました
- 2 農林水産省の体制が整いました
- 3 市町村からの協力を求めています

### 1 農地情報のデータベース化に向けた拡充内容

- |   |   |
|---|---|
| 1) 整備項目の追加<br>・農道の追加（ただし農道台帳に記載されている農道）<br>・農業振興地域等区域（農業振興地域、農用地区域） | 2) 農地属性情報の追加（一部抜粋）<br>・事業実施状況<br>・傾斜区分<br>・乾湿区分<br>・農道条件 等<br>・用途区分<br>・土壌区分<br>・暗渠区分 |
|---|---|



### 2 今後の水土里情報利活用促進事業の推進について（農林水産省の方針）

平成19年11月6日「農地政策の展開方向について」示された「農地情報のデータベース化」方針に対応するため、以下を目標に水土里情報利活用促進事業を進める。

- ①平成21年度までの2年間で、農振農用地区440万haの農地の地図情報及び面的集積に必要な属性情報の整備を完了させる。
- ②水土里情報システムを導入し、平成21年秋までに各県にて本格運用を開始する。

#### 農地政策改革の工程表

別紙

項 目	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度～
○農地情報の共有化	農地情報図の基盤となる地図の整備	農地情報図の基盤となる地図の整備 ↑ 点検・検証 ↓ 農地関連データの付加	農地情報図の基盤となる地図の整備 ↑ 点検・検証 ↓ 農地関連データの付加	
○耕作放棄地対策の促進	耕作放棄地解消のガイドライン策定(国) 耕作放棄地の現状の把握(市町村) 耕作放棄地解消計画の策定(市町村)	国・都道府県の支援のもと計画に基づいた解消対策を実施(市町村)	現状の把握 → 点検・検証 ↓ 解消計画の修正 国・都道府県の支援のもと計画に基づいた解消対策を実施(市町村)	5年後を目途として耕作放棄地を解消 現状の把握 → 点検・検証 ↓ 解消計画の修正 国・都道府県の支援のもと計画に基づいた解消対策を実施(市町村)
○優良農地の確保、農地の面的集積の促進、農地の権利移動規制の見直し等		平成20年度中ないし遅くとも平成21年度中に新しい仕組みがスタートできるよう法制度上の措置を講じる 農地の面的集積の仕組みをモデル的实施 ↑ 点検・検証 ↓		

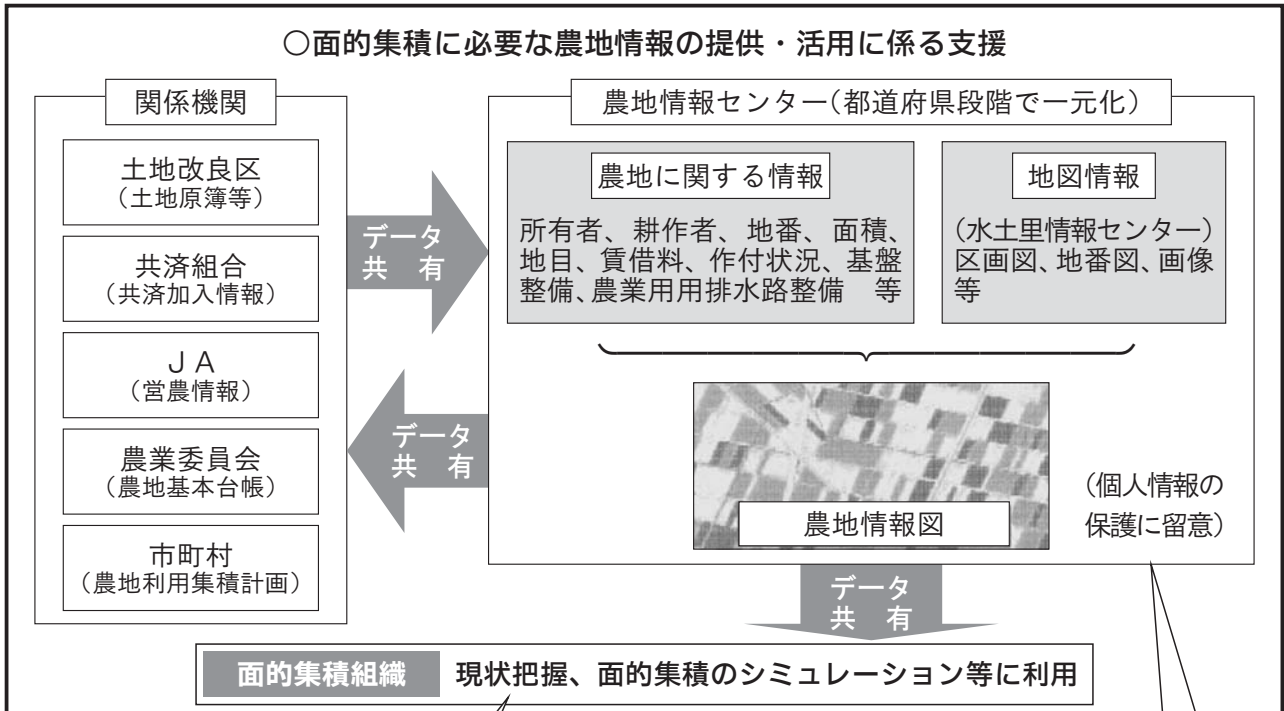
※「農地政策の展開方向について＜農地に関する改革案と工程表＞平成19年11月6日 農林水産省」より

**ポイント2**

農水省の方針を受けて

農村振興局長 } 連盟で通知(H20. 3. 30)  
 経営局長 }

[内容]・担い手育成支援協議会は情報提供と同意取得  
 ・水土里情報利活用促進協議会は情報整備



**支援措置**

**農地に関する情報と地図情報との結合を支援**

○面的集積組織が、当該地域の現状把握や面的集積のシミュレーション等を行うために必要な所有者、耕作者、地番、面積、地目、作付状況等の情報と水土里情報センターから提供される地図情報との結合等を、地域担い手育成総合支援協議会を通じて支援。

【面的集積農地情報整備促進事業(新規)】  
 (20年度概算要求額 980百万円)

**地図情報及び基盤整備情報等の整備を支援**

○面的集積組織が、当該地域の現状把握や面的集積のシミュレーション等を行うために必要な地図情報や、基盤整備情報等の整備について支援。

○また、一元化された農地情報図を関係機関で共有・活用する仕組みの構築を支援(個人情報の保護に留意)。

【水土里情報利活用促進事業(拡充)】  
 (20年度概算要求額 9,699百万円)

**3 水土里情報利活用促進事業のメリット、デメリット**

**メリット**

- ・データの一元化による事務コストの低減
- ・データの表示、集計、検索、分析が可能
- ・システム構築の二重投資が回避
- ・データ、ハードの更新のスケールメリット
- ・24時間、365日GIS運用可能
- ・システム障害復旧、情報管理保守が安心
- ・最新で高度の情報が利用可能

**デメリット (強いて挙げれば)**

- ・維持管理費がかかる(H23以降)
- ・インターネット回線によってはスピードが遅い

**ポイント3**

県や土地改良区からも市町村に対してデータ提供の協力を頂けるように働きかけて頂きたいと思っています。

問い合わせ先：水土里ネット秋田 管理情報部水土里ネットセンター室 鈴木・佐々木 TEL 018-888-2732

## 水土里ネットのIT化(通信情報網)に向けた支援について

水土里ネット秋田では、H20年1月にインターネットの接続をしていない土地改良区に対して接続するための補助事業を実施することとし、申込みを受付けています。

補助を受けてインターネットに接続して、土地改良区が、国、県、市町村、土地連、JA等と幅広く交流して頂きたいと考えています。

### メリット

- ・電子メールでファイルや写真も送れる
- ・全土連ニュース等、読んだり投稿できる
- ・国、県、土地連等から情報が取得できる
- ・提出する様式など送ってもらえる
- ・水土里情報(GIS)を行う場合必須

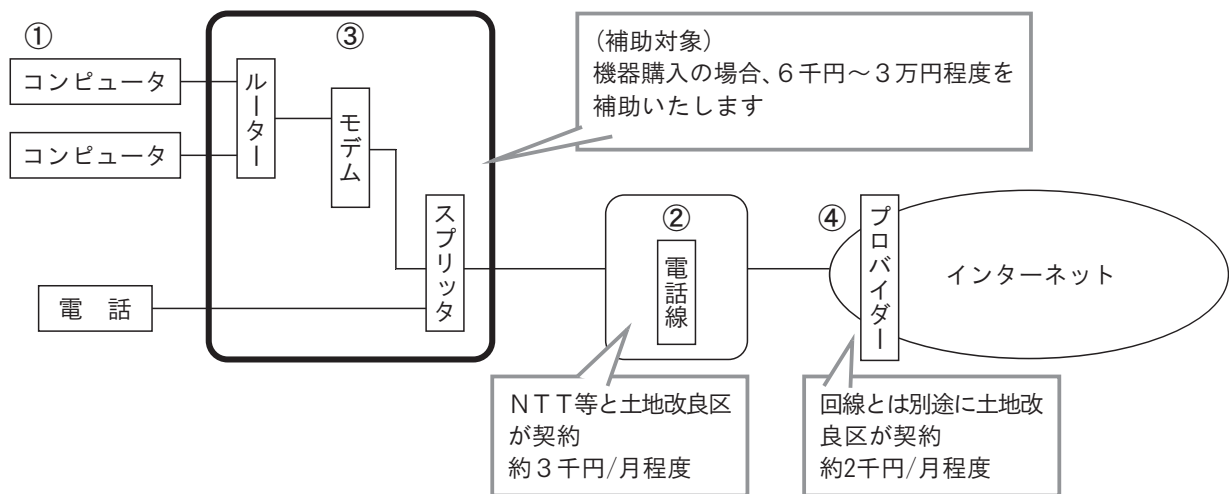
### デメリット

- ・維持管理費がかかる(月4,000~5,000円)

### ■インターネットを始めるためには...

- ①パソコンが必要 (補助外)
- ②電話線などの回線契約が必要 (補助外)
- ③回線とパソコンをつなぐ機器が必要 (補助対象)
- ④接続業者(プロバイダー)との契約が必要 (補助外)

### 【例】ADSLを使用したインターネットの図



### 回線種別

現在の電話回線の利用状況、休止回線の有無、電話局からの距離等で種別の選択が変わります。

- ・一般電話回線(アナログ)
- ・ISDN(電話+FAXが可能)
- ・ADSL(非対称デジタル加入者線)
- ・FTTH(光ファイバー)
- ・CATV(ケーブルテレビ)

### ※初期費用として

- 機器購入(③のみ補助対象)
- 工事費3万円~5万円程度(補助外)
- 月々の経費として約5千円(②+④...補助外)かかります。

まずは、気軽に問い合わせしてみてください。ご相談に応じます。

〔問い合わせ先〕水土里ネット秋田 総務企画部総務班 金森・阿部 TEL 018-888-2716

## 平成21年度 新規土地改良施設維持管理適正化事業の 加入についてのお知らせ

「平成21年度新規適正化事業」の加入申込について、申込期限を平成20年10月31日に設定しました。加入申込を予定している会員の皆様は、「加入申込書」を提出して下さいようお願いいたします。(期日以降の申込の場合は、受理出来ませんので注意して下さい。)

なお、適正化事業への加入申込をするためには、施設の診断(定期・要請)が必要となります。対象となる施設の診断を受け、早めの対応をお願いします。

### ◎担当部署(問い合わせ)

- ・施設の診断及び適正化事業加入について  
管理情報部(担当:小石・堀井・佐藤)  
TEL.018-888-2727 FAX.018-888-2835



▲バルブ据付:町後2号揚水機(潟上市昭和)

## 連 合 会 日 誌

4月30日	秋田県農地・水・環境保全向上対策地域協議会第1回担当者会議	秋田市
5月20日	山城水系土地改良区堰根祭	横手市大森
5月28日	秋田県土地改良専門技術者会平成20年度(第15回)通常総会	秋田市
5月29日	都道府県水土里ネット事務責任者会議	東京都
6月4日	疏水ネットワーク平成20年度第1回通常総会	北海道
6月4日	疏水サミットin北海道2008(~5日)	北海道
6月9日	21世紀土地改良区創造運動担当者会議(~10日)	東京都
6月11日	秋田県担い手育成総合支援協議会総会	秋田市
6月15日	第59回全国植樹祭	北秋田市
6月16日	秋田県仙北平野土地改良事業推進協議会総会	大仙市
6月17日	平成20年度秋田県市町村等土木積算協議会	秋田市
6月20日	県営ため池等整備事業(柏ノ木沢地区)竣工式	由利本荘市
6月23日	平成20年度秋田県水土里情報利活用推進協議会	本会第1会議室
6月24日	地球人会議運営委員会	本会第1会議室
6月25日	平成20年度職員会由利支部総会並びに研修会	由利本荘市

### 今後の行事予定

6月27日	秋田県土地改良事業団体職員会第48回通常総会	秋田市
6月27日	秋田県農地集団化推進協議会第48回通常総会	秋田市
6月28日	水土里の郷 わくわく探訪	潟上市、男鹿市、大潟村
6月28日	種沢地区基盤整備事業記念碑除幕式並びに竣工式	秋田市雄和
7月1日	21世紀土地改良区創造運動大賞 東北地方選考委員会	仙台市
7月9日	平成20年度土地改良負担金総合償還対策事業担当者会議	東京都
7月11日	平成20年度全県管理・換地等担当者会議	本会第1会議室
7月15日	第2回理事会(~16日)	北秋田市
7月31日	平成20年度北海道・東北ブロック土地改良換地関係訴訟検討会(~8/1)	秋田市

## 会員だより

### 土地改良区の名称変更について

- 秋田県山本郡二ツ井町種土地改良区は、4月21日付認可で下記のとおり名称変更となりました。(住所、電話番号、理事長名に変更はありません)  
(新名称) 能代市種土地改良区

### 理事長の職務執行について

- 全国土地改良資金協会は、5月22日から理事長の職務執行が次のとおりになりますのでお知らせします。  
理事長職務執行者  
専務理事 吉野 学
- 秋田県仙北南部土地改良区は、6月3日から理事長の職務執行が次のとおりになりますのでお知らせします。  
理事長職務執行者  
副理事長 高橋 周作

### 新理事長就任のお知らせ

- 由利本荘市滝沢堰土地改良区は、4月25日付けで理事長が下記のとおり就任されました。  
理事長 板垣 繁
- 羽後町土地改良区は、6月18日付けで理事長が下記のとおり就任されました。  
理事長 斎藤 喜光

### 平成20年春の勲章及び 褒章受章者発表

平成20年春の叙勲の受章者が4月29日に発表されました。受章者は、地方自治や教育、消防、行政などの分野で長年にわたり社会に貢献してきた方々です。本会会員からも土地改良事業の功績が認められ次の方々が受章されました。おめでとうございます。

#### ○旭日単光章（土地改良事業功労）

伊藤 徳蔵  
・秋田県仙北南部土地改良区前理事長

#### ○旭日単光章（土地改良事業功労）

佐々木 達雄  
・秋田市孫左衛門堰土地改良区理事長

## NHK “熱中時間” で農業用水路が取り上げられます

NHKのBSを中心に放送されている『熱中時間』（番組ホームページ：<http://www.nhk.or.jp/nj/>）という番組で、用水路めぐりに熱中する人という設定で、本会前技術顧問で現在農業農村整備情報総合センター客員研究員の川尻裕一郎氏が出演されます。

この番組は、様々な趣味に熱中する“熱中人”を研究する「熱中研究所」の研究・分析活動が軸で、多彩な趣味を持つ人を紹介し、その熱中ぶりや、それぞれの趣味自体の面白さ・奥深さを伝えるものです。

すでにロケは終えており、疏水百選にも選定された長野の五郎兵衛用水、富山の舟倉用水、川尻氏の自宅近くの両総用水地区の水田、そして川尻氏の自宅での撮影が行われています。

現在、編集作業が進められており、どのような番組になるか楽しみですが、山深い水源地から遠く離れた水田へと水を引くために水路を開削した先人の偉業、そして、今なお大地を潤すその水路を守り続ける土地改良区の方々の苦労が、一般の視聴者に理解され、用水路への関心を引きつけるものとなることが期待されます。

放送時間は以下のとおりですので、是非ご覧頂くとともに、お知り合いの方々にもご紹介していただきますようお願いいたします。

- 7月1日（火） 22:00～22:44（BS Hi）
- 7月3日（木） 19:45～20:29（BS 2）
- 7月7日（月） 12:00～12:44（BS Hi：再放送）
- 7月16日（水） 22:45～23:00（総合テレビ）

※総合テレビは9日（水）になる可能性があります

（全国水土里ネット）

なお、本県からも疏水百選に選定の上郷温水路群（にかほ市）の写真、映像を提供しております。





## インフォメーション

## 平成20年度「ため他のある風景」 写真コンテスト作品募集要領

### ● 題 材

- 農業用ため池(農業用水として貯留木の一部が現に使用されているため池。ただし、いわゆるダムと称されているものは除く。)
- 上記のため池を含めた農村の風景、ため池と棚田、ため池を管理する農家、ため池の四季など、自由。

### ● 応募方法

- 未発表のもので、四つ切り又は四つ切りワイドサイズのプリントを送付(返却を希望する場合は、送料相当分の切手を同封してください。なお、入選の場合は返却できません。)  
・画題、住所、氏名、年齢、職業、連絡先、撮影日、撮影場所、ため池の名称(不明の場合は、各都道府県の農林部局もしくは土地改良事業団体連合会に照会してください。)、撮影データを自作の応募票に記入の上、平成20年9月30日(当日消印有効)までに送付。
- 応募作品の使用権は主催者に帰属します。
- 送付先 全国水土里ネット内「ため池のある風景写真コンテスト」係  
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-4 Tel.03(3234)5591

### ● 審査発表

平成20年10月に英伸三先生を委員長とする審査委員会で審査し、11月に開催予定の「農業農村整備の集い」(全国水土里ネット主催)で表彰、展示。

### ● 賞

- |              |    |      |      |     |          |
|--------------|----|------|------|-----|----------|
| ・最優秀賞        | 1点 | 10万円 | ・優秀賞 | 2点  | 5万円      |
| ・全国水土里ネット会長賞 | 1点 | 5万円  | ・特別賞 | 30点 | 各地の農林水産物 |

### ● 主催者等

主 催 全国ため池等整備事業推進協議会  
協 賛 全国土地改良事業団体連合会、各都道府県土地改良事業団体連合会  
後援予定 農林水産省

## 平成20年度土地改良施設安全管理推進啓発用ポスターについて

会員の皆様には、全国水土里ネットが「土地改良施設の安全管理推進啓発用ポスター」を作成し事務所及び小学校・幼稚園等に掲示頂いております。例年は5月中旬に配布していましたが、本年度はポスター印刷の発注を4月に行ったため、会員への配布時期が「7月中旬以降」になるとの連絡を受けましたのでよろしくお願いいたします。

### ながれ写真集

関係機関の皆様のご協力により、今年度の発行を予定しております「ながれ写真集」は、現在7月下旬の発行を目指して作業を進めております。発行まで、しばらくお待ちください。

### お知らせ

本会では、省エネ対策と業務の効率化を図る目的で6月～9月まで、ノーネクタイを実施しております。また、水曜日(通年)をカジュアル・デーとさせていただきます。ご来館の皆様のご理解をよろしくお願いいたします。

# 農村を撮ろう 第11回 写真コンクール開催中

本会では、秋田県後援のもと「第11回美しく豊かな農村づくり写真コンクール」を開催しています。県内の農村風景の作品(県内で撮影した未発表のもの)を募集しております。応募方法等については標記ポスター(県内の各地域振興局、市町村、土地改良区、公共施設等に掲示してあります)や本会ホームページ(<http://homepage2.nifty.com/akidoren/>)をご覧ください。

## ■応募締切

平成20年9月10日(当日消印有効)

## ■応募規定

1. 県内で撮影した未発表のものに限ります。
2. 作品の規格、キャビネ版(2L版可)以上の単写真とし、作品の裏に応募票(画題、住所、氏名、年齢、職業、電話番号、撮影場所、撮影期日を明記：自作可)を張り付けて下さい。
3. 応募は、個人の作品で一人3点までとします。
4. 作品の内容
  - ①緑豊かな農村の自然(四季の移り変わり等)
  - ②農作業(田植え、稲刈り、野菜づくり、果樹の手入れ等)
  - ③農村生活(ふれあい農園、朝市、祭り、維持管理作業等)
  - ④土地改良施設(ため池、堰、道路や水路、農村公園等)

## ■表彰

・県知事賞	1点	副賞	50,000円
・水土里ネット会長賞	1点	副賞	30,000円
・優秀賞	5点	副賞	20,000円
・佳作	15点	副賞	5,000円

## 【問い合わせ・応募先】

〒010-0967 秋田市高陽幸町3-37  
 水土里ネット秋田 総務企画部広報・渉外班  
 TEL.018-888-2742



## 6月、野に咲く花

### 道端のマーガレット



- 英名：マーガレット、キク科キク属の半耐寒性多年草
- 和名：木春菊(もくしゅんぎく)
- 花言葉：恋いを占う、予言、真実の愛(花卉の数はほとんど奇数枚！)

## 編集後記

- ◆6月14日、岩手・宮城内陸地震が発生し、岩手県や宮城県等で甚大な被害が生じました。被害に遭われた方が1日も早く元の生活を取り戻され、着実に復興が図られていくことを心よりお祈り申し上げます。土曜の朝、我が家ではこれから動きだそうとした時、大きな長い揺れを感じて、気づいたら子供たちはテーブルの下に潜り込んでいました。本県を中心に大きな被害を受けた日本海中部沖地震から、ちょうど25年。当時を思い出した人もいたのではないのでしょうか。災害は忘れた頃にやってくる。なかなか予測はできませんが、いざという時の備えだけはしておきたいものです。
- ◆秋田県を含む東北地方にもようやく「梅雨入り」が発表(6月19日)された。県内は皮肉にも梅雨入りした途端に、夏本番を迎えたような暑さが何日か続いた。気温も7月下旬並みとなり、県内各地では水不足を心配する声が聞こえてきている。また、テレビ等では毎日のように地球温暖化の原因となるCO<sub>2</sub>削減問題が報道され、来月の洞爺湖サミットでも環境問題も含め最大の課題となっている。先日は、北秋田市で全国植樹祭が行われたばかり。この機会に身近な水と緑、森林や環境などについて考えてみたいですね。(広報・渉外班〇嵯峨記)